

すくすく

NO. 31 20年4月1日 発行



かねはら小児科は10年目を迎えました
新たな出発の年です!!

院長 金原洋治

今年の4月1日で、かねはら小児科は開設10年目を迎えました。

開業時に「子育て支援」と「障害児・者の地域生活支援」の2つを大切なテーマとして掲げ、10年間医療を行ってきました。これらを実現するための活動の内容を振り返り、どのくらい実現できたかを見直し、新たな目標を立てる年にしたいと思っています。職員一同、今までの医療の内容をもう一度見つめ直し、より一層子どもや子育てをしているお母さんやお父さんに役立つクリニックにしたいと思っています。

2つのテーマに関する考え方や取り組みをお話したいと思います。
テーマ1 子育て支援 すべての子どもの支援のために!!

日々の診療そのものが子育て支援感染症やアレルギー疾患など子どもによくある病気が、どんな病気でもどんな経過をたどるのか、ホームケアに関する情報を、その都度できるだけ丁寧に説明し、子育ての主役のお母さんやお父さんが、自信を持って子育てできるようにお手伝いをするのが大切だと思っています。当院は、多くの方が受診されますので短時間で必要な情報をお伝えするため、説明書を作成しお話しています。家に持って帰り、御家族の皆さんで役立てただければと思います。疑問点は、遠慮なく医師にお尋ね下さい。

説明は、医師だけでなく、事務員、

看護師、作業療法士、心理士、栄養士などがチームで役割分担して行うものだと考えています。スタッフも積極的に学会や研修会に参加したり、院内の研修会を行ったりして、よりよい医療ができるように務めています。もし、医師が忙しそうにして聞きにくい場合は、スタッフに遠慮なくお尋ね下さい。

金原医師の相談外来 毎週、月、水、金曜日の10時30分、12時と15時、16時の間、私は主に、心の相談と発達に気になるお子さんの相談外来を行っています。初診は、お一人に30分程度を確保しています。そのため、前記の時間帯は、予約の方を優先しておりますので、一般の病気で受診された方は、主に石本医師が診療を担当します。御迷惑をお掛けしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。この相談外来は市内だけでなく、県西部全域や北九州からも相談に来られる関係で予約も多く、申し込まれてから受診までに2週間以上かかることもありま

す。相談をご希望の方は受付までご予約下さい。お電話でも結構です。

発達支援室ベースキャン 2階の「発達支援室ベースキャン」では、不登校や心身症など子どもの心に関する相談や自閉症や学習障害など発達に気になる子どもの支援の場として開設し、作業療法士や臨床心理士が担当しています。幼稚園や保育園、学校の先生方が相談に来られることも多いです。又、3・4階の「じねんじょ」と連携して活動しています。

子育て情報の発信 待合室やホールなどに医療や子育てに関する講演会な

どの情報コーナーを多く設置したり、院内報やホームページで情報を発信しています。難病や障害児の親の会、医療・保健・福祉・教育などの情報も必要に応じて提供させていただいています。

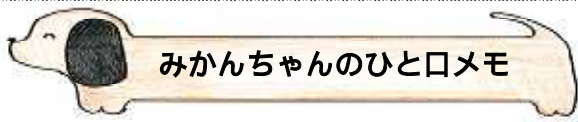
テーマ2 障害がある子どもの地域生活支援

障害がある子どもの地域生活支援の活動については、3、4階に、社会福祉法人が運営している「じねんじょ」があります。「障害があっても地域の中でみんなと一緒に暮らしたいという」障害がある人達の願いを実現するためのお手伝いをする場です。毎日40名近くの方が利用されています。利用について相談されたい方は、4階の担当者までご連絡ください。

以上、当院が大切にしていることや、主な活動内容を説明させていただきました。今後、これらの活動がより充実したものになるように、職員一同、努力したいと思えます。これからも、よろしくお願ひします。



かねはら小児科スタッフ



みかんちゃんのひと口メモ

～喘息なんか恐くない～

今回のテーマは「吸入ステロイドについて」

吸入ステロイドは前号でも書いたとおり、喘息予防薬に分類されます。

軽い発作でも毎週のように繰り返したり、抗アレルギー剤を予防的に飲んでいても、発作が出てしまうようなお子さんにはお薦めです。

喘息では気道の炎症が発作時でなくても続いています。炎症のある気道は過敏になっているので、発作を繰り返しやすい状態になっています。吸入ステロイドは、その炎症を取り除く薬です。

吸入タイプなので内服のステロイドとは違い、かなり少ない量で、直接、気道に働きます。内服と比べて全身性の副作用もほとんどみられません。局所的には口腔内のカンジダが出るがありますが、使用後の「口ゆすぎ」と「うがい」で予防できます。

大切なのは発作がおさまったからといってすぐに薬をやめないことです。気道の炎症がしっかりおさまるまで、2～3ヶ月かかるともいわれています。発作がなくなった状態でも医師と相談の上、薬は中止しましょう。

〔主な吸入ステロイド〕

- パルミコート（吸入器の購入が必要です）
- キューバル
- フルタイドディスカス、フルタイドエアードエア（気管支拡張剤との合剤です）

お子さんの年齢、吸入力などに応じて薬を選択し、場合によってはスプレー（吸入補助具）を使っての使用をおすすめします。わからないことがあれば何でも相談してください。

栄養相談日のお知らせ

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時から16時まで

- 4月 9日（水）4月16日（水）4月22日（火）
- 5月14日（水）5月21日（水）5月27日（火）
- 6月11日（水）6月18日（水）6月24日（火）

編集後記

先日、川崎病を発見された川崎富作先生の講演を拝聴する幸運にめぐまれました。病気が発見されてから47年が経過しても、はっきりとした原因は判っていません。82歳の現在も研究を続けておられる先生の若々しい語り口と情熱に会場は興奮に包まれ、偉大な先人を前に、身の引き締まる思いでした。10年をむかえ、今後も皆様のお力になれるよう、スタッフ一同頑張っております。ももくり さんねん

講演会のご案内（公開講座）

不登校・ひきこもりの回復のプロセス

講師 NPO法人Nest 石川章

発達障害児の心の叫び

講師 下関リハビリテーション学院

新庄 玉恵

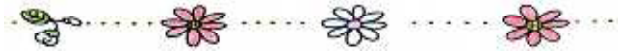
日時：5月25日（日）14時より

場所：山口県国際総合センター

海峡メッセ下関

第16回日本小児心身症医学会中国四国地方会
院長が会長を務めます。

みなさんの参加をお待ちしております。



麻疹・風疹混合ワクチン接種のお知らせ

4月より年長さんになる方へ

MR（麻疹風疹混合）

ワクチンを接種しましょう！

中学1年生と高校3年生にも

接種を無料で実施することになりました。

（平成20年4月より5年間のみ）

全国的に麻しん（はしか）の流行がみられています。対象年齢のお子さんには早めに接種を受けましょう。



期	満1歳～2歳未満
期	小学校入学前1年間 （年長さんの4/1～3/31）
期	中学1年生の1年間 （4/1～3/31）
期	高校3年生の1年間 （4/1～3/31）

予約は不要です。

母子手帳をお持ち下さい。

ポリオの予約が始まります

5月よりポリオの接種が始まります。予約制ですので、受付にてお申し込み下さい。お電話でも受け付けています。

予約開始 4月1日（火）

接種期間 5月7日（水）～6月中旬 月火水金

時間 14時～14時30分

定員 各日とも17名

接種前後30分間は飲食が出来ませんのでご注意ください。



発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2 28 20

083 252 2112

HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681/>